

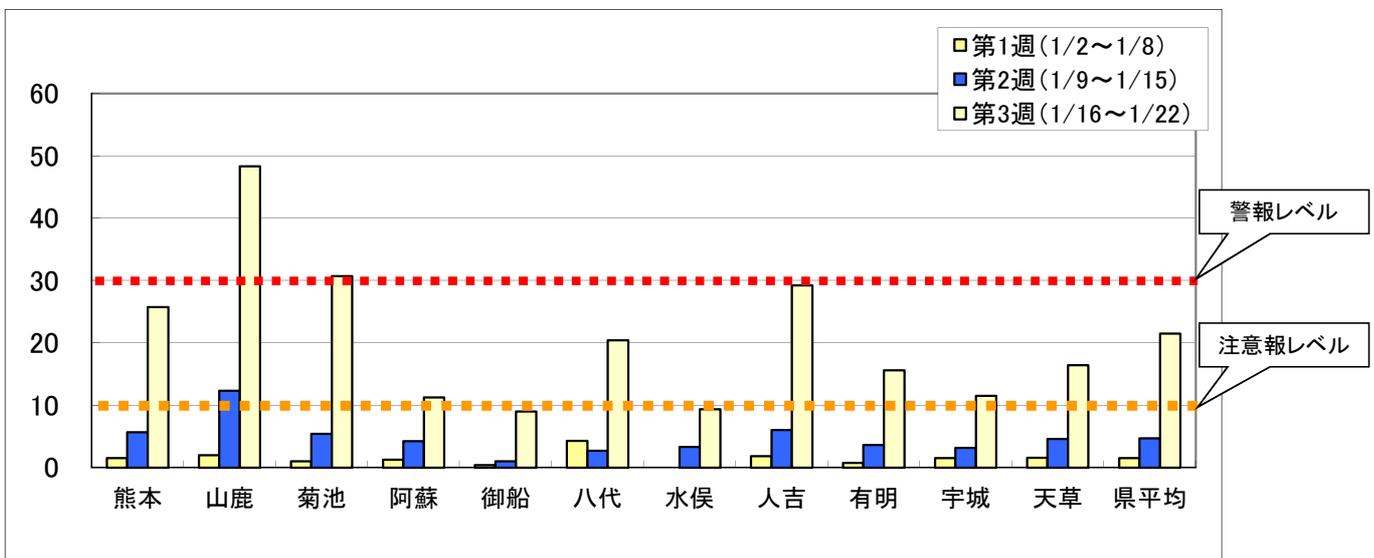
インフルエンザ患者報告数が、注意報レベルを超えました。
～感染拡大防止に努めましょう～

平成24年第3週(1月16日～1月22日)の熊本県感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたりの患者報告数(※)が、注意報の基準値(10.00)を超え、21.50(定点数80カ所、報告数1,720)となりました。

一人ひとりが感染予防を心がけてください。また、もしかかってしまった場合には人にうつさないようにすることも大切です。

※定点あたりの患者報告数…あらかじめ選定された県内80医療機関(定点医療機関)を1週間に受診した患者数を80で割った数

○定点あたりの患者報告数



○地域(保健所)別定点あたりの患者報告数

	熊本	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県	全国
第1週 (1/2~1/8)	1.52	2.00	1.00	1.25	0.40	4.29	0.00	1.80	0.75	1.50	1.57	1.54	3.76
第2週 (1/9~1/15)	5.64	12.33	5.43	4.25	1.00	2.71	3.33	6.00	3.63	3.17	4.57	4.71	7.33
第3週 (1/16~1/22)	25.76	48.33	30.71	11.25	9.00	20.43	9.33	29.20	15.63	11.50	16.43	21.50	

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザに関する情報」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>
 熊本県ホームページ「インフルエンザ総合情報ホームページ」
<http://www.pref.kumamoto.jp/site/influenzasub/>

連絡先 健康危機管理課
 直通 096-333-2240
 内線 7084, 7080
 (感染症・新型インフルエンザ対策班)
 担当: 友枝・財津

【全国のインフルエンザ流行状況】

- ① 平成23年第49週（12月5日～12月11日）に定点あたりの患者報告数が「1.11」と1.00を上回り、平成24年第2週（1月9日～1月15日）には「7.33」となりました。
- ② 平成23年第49週～平成24年第1週の5週間では、インフルエンザウイルスの検出はA香港型が最も多く、B型も報告されています。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 手洗い・うがいを習慣づける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ **せきエチケット**を守る。

※せきエチケットとは？

～感染の拡大を防ぐための大切なルールです～

- ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【昨シーズンのインフルエンザの流行状況】

シーズン	流行入りした週	注意報レベルに達した週 (※1)	警報レベルに達した週 (※2)
2010～2011	平成22年第52週	平成23年第2週	平成23年第3週

※ 1 注意報レベル・・・定点あたりの患者報告数 10

※ 2 警報レベル・・・定点あたりの患者報告数 30